

「原発ゼロ」「再エネ100」に向け、国会で開かれた議論を!

## 第88回 国会エネルギー調査会(準備会) グリーン・リカバリーの実現へ

～ネットゼロ、省エネ・再エネ拡大のエネルギー基本計画を!～

菅義偉首相は「成長戦略の柱」として、「2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする」と所信表明を行いました。

折しも、衆議院予算委員会で首相は「現時点では」原発の新増設は想定をしていないと答弁、梶山経済産業大臣は「原子力を含む2050年のカーボンニュートラルを目指す道筋において、総合エネルギー調査会とグリーンイノベーション戦略推進会議で集中的に議論」と答弁。経産省の総合資源エネルギー調査会では、「エネルギー基本計画」の見直し議論が始まりました。このままでは審査中原発を含む26基稼働により、2030年の長期エネルギー需給見通し(原発22~20%)に向けたシナリオが進みます。

一方、河野規制改革担当大臣は、再エネ拡大の障害となる規制の総点検に着手、10月20日の記者会見で「再エネの規制緩和についても、経済界からの要望が非常に強い」、「どういう規制がこの再エネの拡大を阻害しているのか」、規制改革が急務であると述べています。

グリーン・リカバリー社会に向け、今、何をすべきか、徹底討論します。

### 開催概要

日時：2020年11月26日(木) 16:00~18:00

場所：衆議院第二議員会館第3会議室(地下1階) および Zoom

主催：超党派議員連盟「原発ゼロ/再エネ100の会」/国会エネ調有識者チーム

出席者：国会議員(原発ゼロ/再エネ100の会メンバーはじめ関心をお持ちの皆様)

国会エネルギー調査会(準備会)有識者チームメンバー

テーマ：グリーン・リカバリーの実現へ

～ネットゼロ、省エネ・再エネ拡大のエネルギー基本計画を!～

### プログラム

- ① 開会：冒頭挨拶
- ② 提起：明日香壽川氏(東北大学教授)  
金子勝氏(慶應義塾大学名誉教授、立教大学大学院特任教授)
- ③ コメント：飯田哲也氏(環境エネルギー政策研究所所長)ほか
- ④ 説明、質疑応答：経済産業省、内閣府、環境省
- ⑤ 出席国会議員・有識者を交えた総合討議・質疑応答
- ⑥ 閉会

\* ISEP YouTube チャンネルで配信しています → <http://www.youtube.com/user/ISEPJAPAN>

\* 過去開催分の映像・配布資料も公開しています → <http://www.isep.or.jp/archives/library/5024>

◆事務局連絡先 阿部知子衆議院議員事務所(原発ゼロ/再エネ100の会事務局)

Tel: 03-3508-7303 / Fax: 03-3508-3303 / E-mail: [masano@abetomoko.jp](mailto:masano@abetomoko.jp)  
認定NPO 法人環境エネルギー政策研究所(有識者チーム事務局)

Tel: 03-3355-2200 / Fax: 03-3355-2205 / E-mail: [dohman\\_haruhiko@isep.or.jp](mailto:dohman_haruhiko@isep.or.jp)

第 88 回 国会エネルギー調査会（準備会）（2020/11/26）

グリーン・リカバリーの実現へ～ネットゼロ、省エネ・再エネ拡大のエネルギー基本計画を！

1. 開会・冒頭の趣旨説明（16:01～16:03） 2分

原発ゼロの会より

2. 説明と回答（16:03～16:13） 10分

「エネルギー基本計画の見直しに向けて」（令和2年10月13日）より抜粋説明

- ・（参考）エネルギーミックス～3E+Sの同時実現～（P.14）
- ・（参考21）非効率石炭フェードアウトに向けた取組（P.84、85）★
- ・（参考24）原子力の技術開発と導入促進（P.87）
- ・次期エネルギー基本計画検討の進め方（案）（P.101）

【事前質問】

Q1：現状の再エネ・省エネ導入目標と首相表明2050年のカーボン・ニュートラルとの不整合をどう埋めるのか。

Q2：10月13日、11月17日の総合資源エネルギー調査会基本政策分科会において、原発の新增設についてどのような議論があるか。

Q3：★容量市場には、EUや英国のような「炭素基準」（二酸化炭素排出規制）が必要ではないか。現状の容量市場では、非効率石炭が温存されるのではないか。

Q4：★柔軟性のない原発を電源維持のために温存する容量市場（メカニズム）は、変動型の再エネ拡大に逆行するのではないか。

資源エネルギー庁	省エネルギー課	課長補佐	内山 弘行氏
	新エネルギー課	課長補佐	廣瀬 浩三氏
	電力基盤整備課	課長補佐	伊藤 優理氏
	原子力政策課	課長補佐	川瀬 英文氏
	原子力基盤室	室長補佐	中谷 絵里氏

3. 説明（16:13～16:23） 10分

「再エネ拡大の障害となる規制の総点検」について

内閣府 規制改革推進室参事官 山田 正人氏

経産省 資源エネルギー庁 総務課 戦略企画室 室長補佐 植田 一全氏

4. 説明（16:23～16:30） 7分

11月13日閣議後会見で小泉環境大臣が言及したカーボンプライシングの導入について  
環境省 地球環境局地球温暖化対策課メカニズム室長 井上和也氏

5. 提起（16:30～16:50） 20分

「グリーン・リカバリー日本版」について 明日香壽川・東北大学教授

「原発新增設について—上関原発を事例に」（仮題）伴英幸・原子力資料情報室共同代表

6. コメント（16:45～17:05） 各7分

金子勝・慶應義塾大学名誉教授（Zoom）

飯田哲也・環境エネルギー政策研究所所長

7. 質疑応答（17:05～17:58） 67分

8. 閉会（17:58～18:00）

# 無駄な 海上ボーリング調査 新規建設計画の中止を！

国会エネルギー調査会(準)

2020.11.26

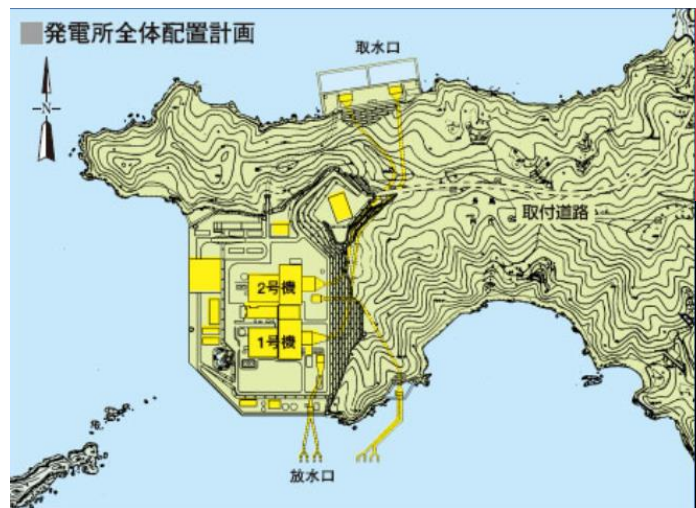
伴英幸



## 上関原発とは

◇ 海を埋め立てて建設する唯一の計画

◇ 137万kWの  
沸騰水型原発2基



◇ 1982年に計画浮上・祝島漁協反対決議

2009年に設置許可申請⇒福島事故で審査中断

◇ 民主党政権時代に上関原発計画は新設原発として認めないとされた

◇ 現在も新設原発の扱い(経産省・規制庁)

## ボーリング調査の位置

山口県の一般海域占用許可基準：  
原則として認めるべきではないが、社会経済上必要やむを得ない場合には、許可する



祝島島民の会青年部  
Twitter(11月22日)より

- 中国電力は上関原発建設について、着工・稼働ともに時期未定としている



調査期間11月4日～1月26日  
ボーリング本数1本

ボーリング準備の現場から(2020年11月6日)

